平成 2 1 年度 実 施 事 <u>業</u>

事務事業名 PTA連合会助成金

区分	番号	· 名 称								
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち								
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む								
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり								
小分類	2	開かれた学校づくりの推進								
主要な施策	2	地域・家庭との連携促進								
事務事業番号	002	事務事業コード 52222002 事業開始年度 昭和 6 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度								

会計種別 一般会計

予算書上の事務事業名 PTA連合会助成金

部 名 教育部

グループ名 社会教育 G

統合前または名称変更前の事業名

事務事業の目的と成果

(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)

→ 登別市 P T A 連合会

对

(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)

市内の小中学校及び高校のPTAで構成される登別市PTA連合会に対し助成金を交付する。

【主な事業】

段

事

の内容

研究大会の開催

教育懇談会・交流会の開催

母親研修会の開催

広報誌の発行

活動)

(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)

登別市PTA連合会の活動を通し、市内各学校のPTAの緊密な連絡調整と教育の充実発展を図り、子ども達の豊かな人間性を育む。

す姿 (成果)

指

(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

根拠法令等

指標の推移

		区分	単位	区分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成果	环族 人即提同粉		目標値	4	4	4	4	4	
		研修会開催回数	回	実績値	4		/		
指標	指標			目標値					
				実績値			/		

事業費の推移 21年度 22年度 当初予算 24年度 25年度 23年度 23~25年度 X 分 単位 決算 見込 見込 見込 合計 国庫支出金 名称 千円 事 道支出金 千円 0 地方債 千円 名称 財 千円 その他 名称 源 -般財源 名称 千円 300 300 300 300 300 900 訳 300 300 300 300 300 900 職 千円 165 173 (参考) 嘱託員 千円 0 上記事業を実施する上で 0 0 臨時職員 千円 必要となる人件費 合 計 165 173

担当グループによる事務事業評価の内容

担当グループによる事務事業評価の内容									
1.事務事業の妥当性について									
今後も市が事業主体として実施	妥当である		妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か?	地域の教育力の向上や学校教育の充実を図る めには、保護者と教員の連携は不可欠であり その母体となっている登別市PTA連合会の					
していくことは 受当ですか?	妥当ではない			動を促進させるため妥当である。					
2 . 事務事業の成果について									
	成果があがっている			事業は、社会の動向やニーズに合せたものであ り、連合会の活動により、各学校のPTAの連					
成果はあがって いますか?	どちらかといえばあ がっている			絡調整が図られている。					
V	成果があがらない		N C 9 /Jr ?						
3 . 事務事業の成果向上に	こついて	 							
成果を向上させ	大きく向上させることができる		どのようにして 向上させます か? 向上させること ができない理由	事業内容や実施方法等は、毎年検討されてお り、継続することで活動の向上が図られてい					
ることはできますか?	少し向上させることができる			న .					
	向上させることはできない		は何ですか?						
4 . 事務事業の経済性・対	加率性について	1		マケーロ人 と 東半と思わし マウケーマング					
成果を落とさず にコスト(予算 や人工、所要時	削減できる		どのような方法 でコストを削減 しますか?	予算に見合った事業を選定して実施しており、 削減は難しい。 					
間)を削減する ことはできます か?	削減できない		削減できない理 由はなんです か?						

担当グループによる評価

維持

左記の評価 を選択した 具体的な理 由(根拠) 地域の教育力の向上や学校教育の充実を図るためには、保護者と教員の連携は不可欠であり、その母体となっている登別市PTA連合会の活動は必要である。

総合的な評価(当該事務事業の方向性)

維持

備考

評価の種類

- 拡大(事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業)
- 維持(現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業)
- 改善(現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業)
- 休止(暫定的に休止する事務事業)
- 終了(当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業)
- 廃止(当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業)